

□ スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー（「育てたい生徒像」～ 育成を目指す資質・能力に関する方針）－ 次の人を育てます。

「規範を示し、リーダーシップのとれる人」「課題に対して、自ら計画を立て、考えて行動できる人」「学ぶ姿勢をもち続けることができる人」「自己や他者を認知し、協力しながら、柔軟に物事を進めることができる人」「専門性や統合力を備えた人」「高いコミュニケーション能力を備え、知的好奇心に溢れた人」「英語力を身に付けた上で科学的・論理的思考ができる人」「SDGsの視点から日本の将来像についてグローバルに考えることができる人」「Society5.0に向け、AIやICTに対する深い理解と活用スキルを兼ね備えた人」

(2) カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）－ 次の力を身に付けさせます。

- ① 学びに向かう力（A 主体的行動力：計画を立案、実行する力、B 挑戦力：失敗を恐れず試行錯誤し、物事を完遂する力、C 判断・統率力：物事を適切に判断し、集団を率先して束ねる力）
- ② 知識・技能（D 協働力：他者と協働して物事を進めていく力、E 対応力：自他を認知し、国際理解教育等を通して諸問題に柔軟に取り組める力、F 規範力：自分の行動や判断の拠り所をもつことができる力）
- ③ 思考力・表現力・判断力（G 言語力：国語力・英語力をみがき、自分の考えを豊かに表現できる力、H 知的探究力：広く好奇心をもち、物事の本質を見極め、深く追究できる力、I 論理的能力：物事を深く理解し、柔軟な発想をもって思考できる力）

(3) アドミッション・ポリシー（「求める生徒像」～ 入学者の受入れに関する方針）－ 次の生徒を求めます。

「自分の考えを正しく伝え、相手の考えを尊重し、ルールやマナーを守り、協力できる生徒」「授業や家庭学習に積極的、意欲的に取り組み、進路の実現に向けて日々努力できる生徒」「積極的に部活動に取り組み、学習活動と高いレベルで両立できる生徒」「日本の伝統・文化と異文化への理解を深め、国際交流に積極的に参加できる生徒」「あらゆる教育活動を通して、深く考える力をもち、自ら発信できる生徒」

□ 各教科・科目の指導の重点

- ① 各教科・科目を通して、「主体的・対話的で深い学び」の手法を取り入れた指導方法の工夫や校内研修及び教科会の定期的な実施により、明確な目標設定を踏まえた学力向上の取組を推進する。
- ② 生徒による授業評価や校内研修、授業公開等を活用して授業を改善するとともに、数学B及び論理・表現Ⅰ・Ⅱ、総合英語Ⅰ・Ⅱにおける少人数・習熟度別・TTの授業を通して生徒の自学自習の徹底を図り、生徒が希望する進路の実現をできるよう、「確かな学力」を育成する。
- ③ ICT機器を活用した授業や環境教育などに取り組むとともに、言語活動の充実を図り、図書館の活用やビブリオバトル等の実施により 読書習慣を身に付けさせ、生徒のコミュニケーション能力を育成する。
- ④ 教科「人間と社会」等において、奉仕活動や道徳教育、キャリア教育及び国際理解教育を充実させ、社会の一員であるという自覚及びグローバル化した社会の中で未来を拓くことのできる資質を育成する。
- ⑤ 新体力テストを意図的・計画的に実施し、結果を分析して、生徒の運動能力や体力の向上を促進するとともに、東京2020レガシーを学校2020レガシーとして昇華させ、次世代へと受け継いでいく。
- ⑥ 公民科をはじめ各教科・科目等での学習指導とともに、東京都や小平市の選挙管理委員会と連携して主権者教育を推進する。